

社会学研究法

2004年度講義概要

社会学の学習方法

- 1) 社会学的視点・思考方法の習得
 - 社会学理論・社会学学説史の学習
 - Q 社会学理論とは何か？
- 2) 社会事象の調査・分析方法の習得
 - 社会調査実習、社会統計の学習等
 - Q 社会事象とは何か？

今期のテーマ: 質的社会調査

- 1 社会調査実習 量的社会調査の実習
- 大量観察
- 1) サンプルングによる母集団から代表的集団を抽出: 統計的妥当性の確保
- 2) 仮説の検証 母集団にも妥当する
- 3) 社会事象に関する一般的知見
-
- 学生がやるには困難が多い(手間、資金)

- 2 殆どの卒論：質的調査
- 1) 参与観察 実は少ない
- 2) 事例調査 地域、団体
- 3) 非構造化インタビュー
- 4) サンプル数、事例数が少ない：特殊な事実
- 5) 調査を始める前に自分が何を明らかにするのか明確ではない！

質的社会調査のメリット

- 1)初心者からプロまで幅広く使える
- 2)予算がなくともできる
- 3)自分の問題関心さえあれば、仮説は事後的に発見可能
- 4)量的社会調査が難しくなっている今日、質的調査法は見直されてよい 但し、理論・技法の学習は実は難しい

社会調査をめぐる幾つかの問題

- 社会調査の正当性の危機
- 1)実証的客観主義への懐疑：事実の発掘、現実を写し取るカメラ？
- 2)調査地被害、プライバシー：調査拒否
- 3)調査行為の政治学：誰の、何のための調査か問われる 調査結果の意図せざる効用
- 4)調査行為の権力：調査者・被調査者の非対称性：搾取

- 社会調査の倫理
- 1)研究の論理と社会的倫理は異なる
- 研究者にとって面白いことが、対象社会、対象者の関心、利害に適うとは限らない
- 2)研究により、対象に危害を加えない
- 3)インフォームド・コンセントの原則
- 契約書にする！
- 4)個々の研究を社会が管理 諸委員会